

おおい自然園 自然観察会

夏の生きもののさがし

日時 平成28年7月30日（土）午前9時00分～11時30分

場所 おおいゆめの里

講師 一寸木 肇 【おおい自然園園長】

参加者 15人

サポーター 5人、ボランティア1人

職員 2人



今日は、雲も少なく青い空が広がっています。

こういう日の天気を快晴といいます。

暑くなりますので、水分をしっかりと取ってくださいね。

それでは、今日、お世話になるサポーターさんの自己紹介をします。

気分が悪くなったり、困ったことがあった場合は、サポーターさんに伝えてください。



今の温度は何度でしょうか。

28℃? 30℃?

正解は日陰で26℃です。

今度は、表面の温度を測ることができる温度計で車の表面の温度を測ってみましょう。



この温度計を測りたい物に向けてボタンを押すと、表面の温度が測れます。



白い車の表面温度は何度でしょうか?

測ってみましょう。

42.8℃です。

それでは、黒い車の表面温度は白い車より高いでしょうか?それとも低いでしょうか?

子 「黒い色の車の方が温度が高いよ。」



黒い車の表面温度を測ってみましょう。

49.6℃でした。

白い車よりも6.8℃も高いですね。

表面温度はまわりの色によって影響するんですね。

手のひらで温度の違いを体感してみよう



コンクリートの^{ひかげ}日陰の所と^{ひなた}日向の所の表面温度を測ってみましょう。

日陰は25.6℃、日向は39.2℃でした。
13.6℃も違うんですね。

今度は、手のひらで温度差を確かめてみましょう。
手のひら温度計でも温度の違いが十分に分かりま
すよね。

私たちは、機械に頼らなくても手のひらだけで分
かるすばらしい^{かんかく}感覚を持っています。
この感覚を自然観察にも生かしましょう。

ゴーヤのつるを指に巻きけてみよう



この植物は、沖縄県の方はゴーヤと呼びます。
では、植物図鑑には、どういう名前でのって
いるでしょうか。

答えは「ツルレイシ」です。

はなびらは何枚でしょうか。

5枚です。でも、もとのほうはつながってい
ますね。

いい匂いがします。



今度は、ゴーヤのつるを指に^ま巻きつけてみま
しょう。

つるの先の^{そくめん}側面を^{じょうげ}上下に指でこすってみてく
ださい。

こすると、つるは少しずつ丸まり、5分くらい
で^{かんぜん}完全に指に巻きつきました。

短時間で巻き付いたので、つるの不思議に^{おどろ}驚か
されました。

ツバメの巣立ちは近い



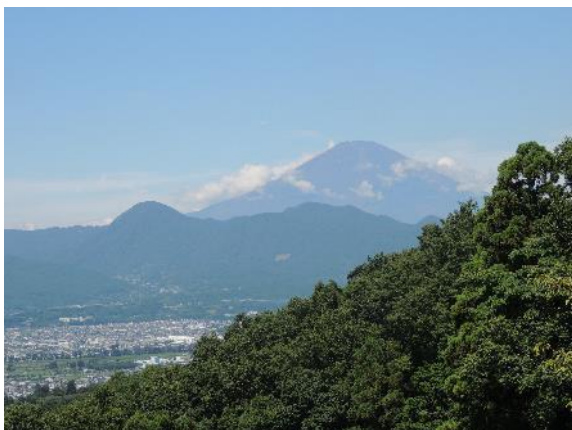
ツバメの巣には5羽のひながいます。
体が大きくなって巣がきゅうくつそうです。
ときどき、親ツバメがえさを運んできますが、
親ツバメが来ると、ひなたちは大きな口をあけて
「ジュクジュク」と鳴いてえさをねだります。

先に巣立った先輩ツバメたちが、巣の周りを行き来してあたかも「勇気を出して飛んでみようよ」と言っているみたいでした。

子ツバメと親ツバメの違いはわかりますか？
子ツバメは、くちばしのつけねの白い部分が目立ちますね。



富士山や箱根火山を双眼鏡で見よう

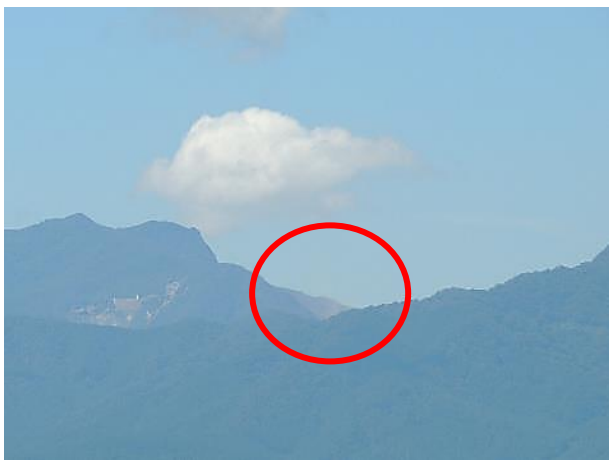




今日は、天気がとても良くて山がきれいに見えます。

富士山を双眼鏡で見ると、山の上の方に雪が残っていました。

また、箱根火山のおおわくだに大湧谷から出ている水蒸気がうっすらと見えますね。



昔の人はカラムシで衣服を作っていた



この植物は、カラムシといいます。

葉を見ると、表は緑色ですが、裏は白っぽいですね。

葉の裏を虫眼鏡で観察してみましょう。

☐ ふわふわしている。

ふわふわしているものは何でしょう。

☐ 毛かな。

そうです。カラムシの葉の裏にはたくさんの毛が生えていていますね。



カラムシの葉は、葉の裏にたくさんの毛が生えているので衣服に付きます。
お面を作って、衣服につけてみましょう。



カラムシの茎の皮をむいてみました。
この皮はとても強く、引っ張っても切れません。

どのくらい切れないか、二人で引っ張ってみてください。なかなか切れませんよね。

これは、カラムシにはじょうぶな植物繊維しよくちつせんいが含まれているためで、昔の人は、この性質せいしつを利用してカラムシの茎の皮から糸を作り、衣服を作っていました。カラムシは苧麻ちよまとか苧おとか呼ばれていて昔は栽培さいばいされていました。

クワガタを食べたのは誰？



林に入って、いろいろな生きものを観察をしてみしょう。



木の切り株の上に、クワガタの死骸^{しがい}を発見しました。

おなかの部分がありません。

誰の仕業^{しわざ}でしょうか。

答えは、フクロウの仲間のアオバズクです。

おいしいおなかの部分だけを木の上で食べて、食べかすを落としたのでしょう。



アオバズク
(坊村地区にて撮影)

キノコと里山の関係



里山には、いろいろなキノコがあります。

このキノコはサルノコシカケの仲間^{なかま}です。
どんな匂い^{にお}がしますか？

☑ 木の匂い^{にお}がする。

サルノコシカケの下側を見てみましょう。

小さい穴がいっぱい開いていますね。

ここから胞子^{ほうし}を出すのです。



サルノコシカケは、枯れ^かかかった木について、どんどん枯^からせて木を土に還^{かえ}す役割があります。



このキノコはハツタケの仲間^{なかま}です。どんな匂い^{にお}がしますか？

☑ バター^{いた}炒めしたエリンギの匂いに似ている。

先ほどのサルノコシカケは、木を枯^からせる役割があったのに対して、このキノコの菌は木を元気にする役割があります。



この白いキノコはシロハツの仲間^{なかま}です。

どんな匂い^{にお}がしますか。

生^{なまぐさ}糞いような匂いがしますね。

このキノコも木を元気にする役割があります。



里山には、木を枯^からせて土に還^{かえ}す役割^{やくわり}のキノコがあったり、また、逆に木を元気にするキノコがあります。そして、木とキノコのお互いの関係が成り立っていることにより、森がいつまでも元気であることができ、たくさんの動物や昆虫がすむことができるのです。

今日あったことを新聞にしましょう



素敵な作品ができました。